

広島県立広島叡智学園中学校・高等学校 学校運営協議会の会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和3年10月5日(火) 10時30分から11時30分まで	開催場所	会議室(オンライン)
出席委員	<p>人数：5人</p> <p>委員氏名(役職)</p> <p>高田 幸典氏(大崎上島町長)</p> <p>森下 秀月氏(大崎上島商工会事務局長)</p> <p>坪谷ニューエル郁子氏(東京インターナショナルスクール理事長)</p> <p>中谷 哲士氏(PTA会長)</p> <p>福嶋 一彦(学校長)</p> <p>改発 祐一郎氏(東京都立国際高等学校市民講師)※欠席</p> <p>草原 和博氏(広島大学大学院教育学研究科教授)※欠席</p>		
会議の概要	<p>○令和3年度自己評価シート(中間評価)に基づく上半期の取組の説明 本校から、学校経営計画の項目に従い、国際バカロレア、主体的・対話的で深い学び、寮生活など、本校の令和3年度上半期の取組について説明を行った。</p> <p>○各委員からの発言(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島叡智学園の生徒が作成した学校紹介の動画を拝見し、生徒が学校のことが好きで誇りを持っているということが分かり、大変感心した。今後の課題としては、放課後や土日の活動、部活動も含めて、自然豊かな環境を活かした活動をどの程度充実させていけるかだと思ふ。 ・地元住民の多くが広島叡智学園の教育活動に関心を持っている。どのような取組をしているのか情報発信の工夫をしてほしい。 ・地元商工会でも、インターンシップなどの活動に協力し、生徒と交流したいと考えている。地域との絆が深まれば、寮生活もさらに充実すると思ふ。そのためにも今以上の情報発信をお願いしたい。 ・国際バカロレア(IB)が、学校の中で浸透してきたと感じている。次年度からはディプロマ・プログラム(DP)が開始となる。生徒が自分の将来にあった科目やレベルの選択ができるように、生徒の相談機会を設けるなど支援する体制を準備していく必要があると思ふ。 ・PTAとして、保護者の中で連携・交流できる仕組みを整備している。今後は、海外からの留学生も加わることを見据えて、どのような仕組みにしていくかを検討し、準備したい。 <p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や寮生活の充実を図る様々な取組を行っていることは分かった。一方で、オンとオフの切り替えも重要だと思ふ。息抜きできる時間はあるのか。 <p>(質問に対する回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と同様に寮でも規則正しい生活習慣を身につけさせるために、学習や食事の時間を定めている。一方、「ユニットタイム」という自由時間では生徒同士がカードゲームなどを楽しんだり、「プレミアムフライデー」の企画では、映画鑑賞をしたりしている。土・日曜日には、個々の居室でゆっくりと心を休め、オン・オフを切り替えられるような自由時間を設定している。 <p>以上、委員から貴重な御意見等をいただいた。 本校としては、委員からの御意見等を今年度下半期の学校運営に活かしていく所存である。</p>		
次回開催予定日	令和4年3月初旬		